



## 外国出張報告書

平成 26 年 7 月 4 日

1. 出張国名           ウズベキスタン
2. 出張月           平成 26 年 6 月
3. 出張目的           日本の暗渠排水技術導入の検討 : A

#### 4. 成果の概要

乾燥地域における農地の塩類集積を低減するための技術検討において、高い地下水位を効果的に低下させて塩類集積を抑制する排水技術の確立に向け、農村工学研究所が開発した穿孔暗渠「カットドレーン」の導入の可能性を明らかにするための現地調査を行った。現地圃場における土壌の掘削調査により穿孔暗渠の通水空洞部の土壌はローム質で空洞が成形できると判断した。また、排水路の設置状況からも施工に適した。ただし、日本で販売している穿孔暗渠機を改良すべき点も明らかになった。

JIRCAS 調査に協力している灌漑・水問題研究所との意見交換では、穿孔暗渠機「カットドレーン」などの日本の簡易排水改良技術について紹介するとともに、本技術を中央アジア地帯で利活用する上での改善点について議論し、本地域に導入するにあたっての施工機の改善点と本技術の適用場面を整理した。さらに、現地の農地整備部門の行政機関と農業機械関連企業に本技術の導入に向けたアドバイスを得た。